

この作品は旭川荘療育医療センター児童院きく病棟に入所されている4名（男性2名、女性2名）の方がグループOT活動の時間に制作しました。

普段は自ら何かに手を伸ばしたり操作することが少ない方たちですが、何かに興味をもっていただけないかと考え、穴あけパンチを使って作品づくりをすることにしました。

少しの力でも押すことができるように自助具を製作し、作業を繰り返すうちにパンチのレバーへ手を伸ばしてきたり、押し込む様子が見られるようになりました。

秋になると当施設周辺の山々も美しい色に変化して、利用者さんや職員の目を楽しませてくれます。その様子が皆さんにも伝わると嬉しいです。

（担当 OT スタッフ）



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



神鷹佑来「くわがたとカブトムシ」

ほくは、くわがた虫とカブトムシがかっこいいから大好きです。

よく、お父さんと虫とりに行って、たくさんかかっていました。

さいきんは、虫とりに行っていないので、またお父さんと、おにいちゃんと虫とりに行きたいです。